

令和4年1月28日
滋賀県信用組合

第11回 経営諮問会議の概要について

当組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第11回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

記

1. 開催日 令和3年9月13日（月）、16日（木）
※新型コロナウイルス感染予防対策として、持ち回り開催といたしました。
2. 場所 委員事務所及び当組合大津支店
3. 出席者
(経営諮問委員)〈順不同、敬称略〉
力石 伸夫 (公益財団法人 淡海環境保全財団 前理事長)
藤田 義嗣 (一般社団法人 滋賀経済産業協会 相談役)
片山 聡 (オアシス法律事務所 弁護士)
(滋賀県信用組合)
青木 和夫 (理事長)
4. 意見交換要旨
(1) 出席委員の皆様から以下のご意見、ご提言をいただきました。
 - ・ Web 会議システム利用の情報交換や研修会を進めているのは、今日的であり、効率よく展開していただきたい。ただ、テクニカルなことをしてしまいがちなので、初めに当たっては役員や部長より「理念」を強く訴えてもらいたい。
 - ・ 地域金融機関は地域を離れては存在しえないので、「郷育」「郷要」といった「郷土を育てる」(地域創生)、「郷土の要を生み出す」(郷土の要となる大事なものを残す、または作り出す)ことが肝要である。
 - ・ 滋賀県にも歴史の中で培われてきた無形の資産があるのではないかと考える。

企業のバランスシートには出ない価値を地元の金融機関が認めていけるようにならなければならない。

- Web 会議が定着してきているが、対面が欠かせないこともある。両面使いで対応していくことが大切である。
- 事業再構築補助金の対応をしているとのことだが、「事業再構築を検討するならけんしんに行ったら良い」というイメージが作れば良いと考える。
- 人材育成は極めて重要であり、人材の育成のあり方等新時代の要請も期待されることと考える。人が育つ風土を作ることが大事。風土を作るのがトップの大事な仕事である。多くの企業が大事にしているし、一つの願いが全体に行き渡っていることが大事である。
- コンプライアンス・チェックについて、項目の回答を「はい・いいえ」の2択だけにするのではなく、程度に応じて4~5段階に分ける等すれば、きめ細やかなアンケートとなって、傾向が掴みやすいのではないか。また、自由記載欄があっても良いのではないか。コロナ禍でコミュニケーションが難しい時代となっており、職員の傾向が把握できれば、対応も検討できる。

(2) 青木理事長からの回答

貴重なご提言を頂きまして、ありがとうございます。

頂いたご意見は対応可能なものから順次進めてまいりたいと思います。

今後ともご支援ご指導宜しくお願い申し上げまして、お礼に代えさせて頂きたいと思います。

以上